

2022 年度シニア自然大学校総合科そら組 ルールと会員の心得

2022 年3月25 日

1. 1年間の班編成や運営体制、基本的な運営方針は、年度初めのオリエンテーションの時間にみんなで共有化します。4月からすぐに活動に移れるよう、総会は3月最終の金曜日に開催します。
2. そら組の活動の基本は、みんなで企画し、協力して運営実施するところにあります。
日々の活動は、企画会議で検討された案に基づいて、全体会で決定し、当番班が運営します。
他の班はそれに協力します。
一泊研修など、特別な活動は、班長会や、実行委員会形式で実施することがあります。
通常活動以外に、「オプション活動」が有志によって随時、企画実施されることがあります。
3. 2016年度からスタートした運営会議という合議運営体制を設置し、皆さんで選出された幹事、副幹事、運営会議委員、班長会及び企画会議で活動を実施します。会の運営に当たっては、公平性、透明性、参画意識の醸成を尊重していきます。会員の皆さんは「連れて行ってもらおうとか、ついていく」というような受け身姿勢の参加ではなく、主体的に参画するように心がけてください。
4. そら組の活動に当たって、班長については、原則として、そら組入会2年目の人を各班で話し合って選出します。また副班長の一人には、経験者を加えてサポート体制を取ります。ただし、班長・副班長にのみ負担が集中しないように、班の中での役割を分担し、協力しあいましょう。
5. 毎活動日には、班長と副班長、担当委員による班長会議で、連絡事項の確認や、各種企画方針などの決定を行います。
6. 当番班は原則として下見を行います。特定の人に偏らないよう、班内で分担協力して実施してください。
下見に伴う個人の交通費は上限を設けず実費支給とし、担当班合計を20,000円以内で調整してください。大学校に提出する交通費明細書には、最寄り駅名と実額合計を記入します。
また、NPO 活動障害保険の対象になるので、早めに幹事に下見予定を連絡してください。
遠隔地など費用がかさむ場合は、補助の追加について事前に相談してください。
7. 2019年9月から「そら組全体メーリングリスト」(以下そら組 MLと略す)は、M list というシステムを利用して運営しています。そら組 ML についての理解を深め、個人メール(個人の出欠回答など)は、通常の1対1のメールを使用するなど、使いわけを心がけてください。またこのメールにそのまま返信をすると、そら組全員(発信者の自分も含めて)に、一斉同報されるので、気をつけてください。
8. 2016年12月から開設したそら組ホームページも活用していきます。そら組 ML で見落とした活動予定や活動報告は、ホームページでも確認できます。
9. 当番班では、案内文書は一応の目安として、3週間くらい前に、また、活動報告書は実施日から次週までの中で作成して、原則、班長からのそら組 ML で配信してください。また、いたずらに凝る必要はなく、せいぜい2ページまででまとめてください。
なお、メール送受信の際に、そら組 ML で送信できないとか、添付ファイルを開けないケースが時々発生しています。これは、添付写真の多用などにより、ファイル容量が増えていることが大きな要因です。写真の圧縮などを行って、メール1件当たりの容量を5MB 以下にしてください。本文と添付を合わせたメールサイズが5MB を超えると、M list システムでは送信できませんのでご注意ください。
10. そら組は大所帯になりました。活動内容によりますが、大人数での観察や見学などが難しい場合は、企画段階で、全体を複数のグループに分けて行動するなどの工夫をしてください。

11. バス利用や入場料や食事代などで予約を要する活動の場合は、おおむね1週間前を超えてから、参加を取りやめる場合、キャンセル料を負担していただきます。このような費用が発生する企画(案内)書には、必ずキャンセル料について明示するようにしてください。
12. 今後もバス利用の機会が多いと思われますが、バス代が高騰しています。バス利用の際、当番班は人数把握に努め、そら組メンバーは、はっきり出欠の意向表明をしてください。
バスが2台か、1台かで、また大型か、中型かで、チャーター料は大違いとなります。
13. シニア自然大学の小旗、ハンドマイクおよび救急バッグは、当日担当班が管理し、その日の解散時に次週当番班に引き継いでください。また各班の救急袋は各班で責任をもって管理してください。
14. 活動時には、必ず名札を付けてください。
15. そら組では、企画案内や活動報告など、みんなで共有すべき情報の交換にそら組 ML を利用します。これはそら組メンバーだけが共有する貴重なツールです。(上述7項参照)
このそら組 ML 及びホームページは、各々の担当運営委員が管理維持にあたります。個人のアドレス変更があった方は、速やかに連絡してください。個人ではそら組 ML の登録抹消や変更の作業はできません。また登録アドレス以外でのそら組 ML の利用もできません。
このほか、OneDrive,DropBox,GoogleDrive などのクラウドについても適宜対策していきます。これらは大量のデータでも、個々の PC に負担をかけなくて活用できるものです。
16. パソコンやスマートホンのメールアドレスを持っていない人との班内での各種連絡は、漏れが発生しないように、各班ごとに方法を決めて実施してください。(電話や Fax など)
17. メールについては、そら組 ML に限らず、少なくとも1日に1回は開くようにしてください。貴重な情報の確認を漏らすことになりかねません。
18. 班編成後、メンバー表がおくられてきますが、メールアドレスを含めて、個人情報に記載されているので、取り扱いには十分注意しましょう。
19. そら組は言うまでもなく自然大好き人間の集まりです。毎回の活動では安全第一に心がけ、楽しく過ごせるように心がけましょう。
経験も好みも異なるシニア男女の集団ですから、多様性こそ、そら組であるという意識を持って、周りの人を特定の色に染めるような行動はお互いに慎みましょう。
20. 新入会員は、期末に実施される調査研究部門の研究活動発表会で、そら組を代表して担当することを心に留め置いてください。
21. そら組の活動は、NPO 活動保険の対象となるためには、原則として、「自然と仲間」の研究部ニュースに記載されていることが必要です。(会員ガイド保存版31 4ページ参照)

以上